

滋賀県立総合病院

薬剤部ご紹介

病院薬剤師を目指す学生の皆さまへ



滋賀県立総合病院

患者さんに寄り添う 安心で誠実な 医療を目指して

ごあいさつ

私たちは「心のふれあいを大切にして安全で質の高い医療福祉を創出し提供する。」の理念の下、県立の急性期医療機関として、がんをはじめとして、あらゆる疾患にかかる高度医療を提供しています。

患者さんおよびご家族に寄り添う安心で誠実な医療の提供を目指して、ともに働きましょう!

総長 兼 病院長
足立 壯一

病院の概要

経過

昭和45年(1970年) 滋賀県立成人病センターとして開設、業務開始
平成21年(2009年) 都道府県がん診療連携拠点病院指定
平成28年(2016年) 新病棟運用開始
平成30年(2018年) 滋賀県立総合病院に改称

病床数

535床

施設認定

都道府県がん診療連携拠点病院/がん薬物療法認定薬剤師研修施設/がん診療病院連携研修施設

診療科

血液内科/腫瘍内科/糖尿病・内分泌内科/老年内科/免疫内科/脳神経内科/循環器内科/腎臓内科/消化器内科/呼吸器内科
総合内科/小児科/外科/乳腺外科/整形外科/形成外科/脳神経外科/呼吸器外科/心血管外科/精神科/泌尿器科/産婦人科
眼科/耳鼻いんこう科/皮膚科/麻酔科/放射線診断科/放射線治療科/救急科/緩和ケア科/リハビリテーション科/歯科口腔外科
病理診断科

特徴

がん、心臓血管疾患、脳神経疾患などにおける高度専門医療を提供/がんゲノム医療の実施/高度ロボット手術機器(ダ・ヴィンチ)、高度放射線治療装置、内視鏡治療装置、心血管カテーテル治療装置、外来化学療法室、がんゲノム医療診療部など、最新の医療機器設備や体制を整備

薬剤師を目指すみなさんへ



私たちは、患者さんの気持ちに寄り添いながら安心して薬物治療が受けられるようみんなで取り組んでいます。ぜひ、私たちといっしょに働きましょう。まずは見学など、ご連絡お待ちしております!

正規職員26名、会計年度任用職員(薬剤師8名、事務3名)

令和5年6月1日現在

薬剤師の活躍

専門・認定薬剤師

医療・薬物治療に関する高度な知識と技能を持つ薬のエキスパートです。患者さんへの治療がより効果的で安全に行えるよう薬学的専門情報を他の医療スタッフに提供しています。

認定資格取得実績(抜粋)

日本医療薬学会 がん専門薬剤師、医療薬学専門薬剤師/日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師、感染制御専門薬剤師、病院薬学認定薬剤師/日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師/日本緩和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師/日本静脈経腸栄養学会 NST専門療法士/日本薬剤師会 認定実務実習指導薬剤師、漢方薬・生薬認定薬剤師/日本アンチ・ドーピング機構 スポーツファーマシスト

※認定資格取得支援あり

チーム医療

多種多様な医療スタッフが、それぞれの専門性を発揮して協働・連携して医療の質を高め、患者さんの状況に応じた効率的な医療サービスを提供しています。

病院薬剤師は、薬物療法の高度化に伴い、医療の質の向上、医療安全の確保の観点から、多くのチームに参加しています。

当院では、医療安全推進チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、感染制御チーム、抗菌薬適正使用推進チーム、褥瘡対策チーム、造血幹細胞移植チームなどに薬剤師が関わっています。

Voice

県立総合病院で活躍中の先輩薬剤師の声をお届けします。
県立総合病院で働く理由、今後の目標など、先輩ならではの経験や実感を率直に語っていただきました。

「何ができるのか」 積み重ねて、 成長に。



病院14年目

専門薬剤師
八尾 尚樹

主に外来化学療法センターで患者説明や副作用の確認、支持療法の提案など患者さんが安全かつ有効ながん治療を受けられるように日々取り組んでいます。

みんなの「ありがとう」が 自信に繋がる。



採用9年目

チーム医療
美濃部 奈都

主に「緩和ケアチーム」「栄養サポートチーム」に携わり、入院中や外来通院中の患者さんのQOLの維持・向上をサポートしています。

専門薬剤師の資格取得に向けて

がん治療に限ったことではないですが、薬剤師にも各疾患領域における専門性が求められています。専門薬剤師制度は条件達成のハードルが高いですが、その領域の薬物療法のスペシャリストたる存在です。

私はがん専門薬剤師の取得にあたり、患者さんから学ぶことがとても多かったです。副作用に苦しむ患者さんは少なくありません。薬剤師として介入できることは何かあるのか、この積み重ねが自身の成長になっていると感じています。

学生の方へ

日常生活を犠牲にして専門薬剤師を目指す…というような時代ではないと思います。趣味を大切に、家族を大切にして、その上で薬剤師としての研鑽に取り組むべきです。(私自身、土日は料理動画を見ながらご飯を作ったり、医師や看護師らとピワイチに行ったりの毎日です)

当院は全国に50ある都道府県がん診療連携拠点病院の1つに指定されており、がん治療に積極的な病院です。若手の薬剤師もがん関連業務の経験に事欠きません。たくさんの症例を経験してこそ、薬剤師としてやりがいや楽しさが見つかると思います。

チーム医療に従事して

緩和ケアチームは、がん患者さんが訴える様々な苦痛を感じ取り、予測しながら症状を和らげることを目的に、栄養サポートチームは、患者さん個々に最良の栄養療法を提供し、治療効果を上げることを目的として病棟横断的に活動しています。

その中で薬剤師は、薬の専門家としての立場から、その人らしく最期まで過ごせるよう患者さんをサポートしていますが、人生の最期の迎え方や生き方、考え方は人それぞれですし、一つとして同じケースはありません。だからこそ難しい、どうすべきなのか、本当に悩む日々です…。でもそれが一番のやりがい

ですし、一人ではどうにもできないときこそ、切磋琢磨し合えるチームのスタッフがかけがえのない存在になります。

先生からの「ありがとう」コメディカルからの「ありがとう」患者ご家族からの「ありがとう」その一言がまたひとつ私の自信につながっています。

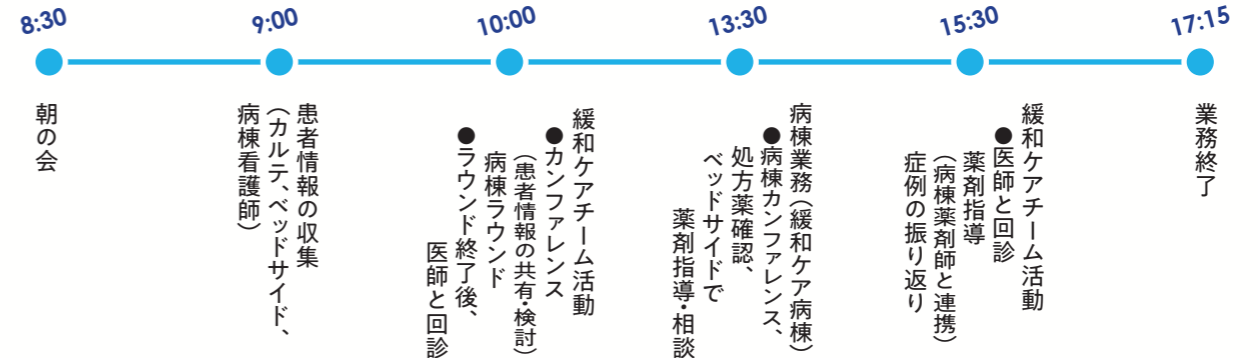
学生の方へ

一生に一度の新卒、そして就活ですね。ぜひ、同じ目標を持つ素晴らしい仲間がいる施設を探しにきてください。これまでの頑張り、これからの頑張りが活かせる場所に巡り合えますように。

1日のスケジュール



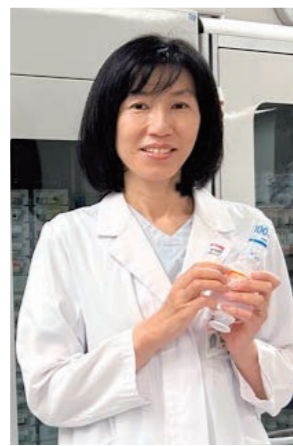
1日のスケジュール



育児休業を経験しました

3人の子供を出産して産休・育休を取得し、仕事復帰後は、育児時間休暇や部分休業を使って就業時間の調節を行っています。

学校行事(参観など)や子供の病気時などは、特別休暇といった子育てのための制度を活用しており、働き続けられる環境が整っています。家事や子育てをしながら働き続けてきた先輩や同僚も多く、他の職員からのサポートが得られることも仕事と家庭の両立ができる大きな理由です。



採用21年目

山本 悦子

病棟業務、チーム医療(NST、褥瘡)、DI(Drug Information)業務、システム関係等、さまざまな業務を経験してきました。

仕事のやりがいなど

医師や看護師など医療スタッフと一緒に患者さんのことを考えたり、医薬品についての質問に答えたりすることで、他の人の役に立っていると感じられる仕事です。仕事とプライベートの両立では、時間を区切り、限られた時間の中で優先順位をつけて効率よく業務を行うことを意識しています。子育てをしながら働くのは忙しいですが、子供との時間を大切にすることで、よい気分転換ができています。

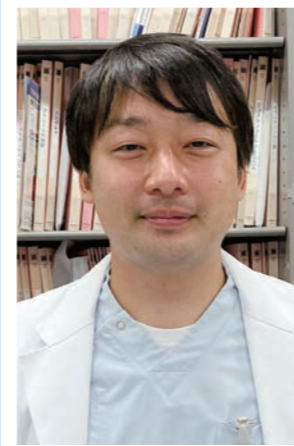
学生の方へ

希望があれば、自分のペースでスキルアップすることも可能です。私は3人目の育休復帰後、「糖尿病療養指導士」と「実務実習指導薬剤師」資格を取りました。病院薬剤師としても、働き甲斐がある毎日を送っています。やる気ある皆さんと一緒に働けるのを楽しみにしています。

育メン頑張ってます!

当院の育児休暇制度では1日1時間30分の休暇を取得できます。また、子供が3歳になるまでは配偶者が時短勤務であっても給与が減額にならない「育児時間休暇」を取得できます。

私はこの育児休暇を利用して2人の子供の支度から保育園の送迎までを行っていました。この制度により大変な育児に参画できたことは貴重な経験となりました。また、制度だけではなく同僚のサポートにも感謝しております。



採用8年目

中島 彰信

外科、消化器内科、血液腫瘍内科などの病棟担当/外来がん化学療法室担当/調剤室業務システム担当/薬学部実務実習生指導担当/滋賀県立総合保健専門学校 歯科衛生学科 薬理学講師

今後の目標(育児との両立)

育児と仕事の両立は簡単ではありませんが、どちらの時間も大切にしながら自分の希望を叶えていきたいと考えます。保護者懇談および授業参観などの保育園の行事は、引き続き仕事を調整して参加したいと考えています。仕事においては、限られた時間を有効にできるだけ多くの患者さんに薬剤管理指導を通じて質の高い薬物療法を提供したいと考えています。



学生の方へ

当院では特に小さな子供がいる場合には育児時間休暇を取得している職員が多くいます。仕事と育児のどちらも精神的に頑張りたい方にはこの制度を活用できますので、当院には恵まれた環境があります。就職活動は人生で大きな局面です。当然仕事内容を中心に考えますが、今後の自分の人生について仕事以外のやりがいや生き方を想像豊かに考えることもよいと思っています。是非、病院見学などで様々なことを含めて何でもご相談ください。お待ちしております。

地元で信頼される薬剤師になりたい

急性期病院で働きたいと思っていたこと、生まれ育った場所でもあり、地元で貢献したいと思ったからです。

5年次の実務実習を当院で行い、丁寧に優しく教えていただいたことがとても印象的でした。実際に働き始めてからもわからないことに対して適切なアドバイスがいただいています。



採用3年目 北浦 真衣

内服・注射の調剤・監査、入院患者の持参薬鑑別、抗がん剤のミキシング・監査、服薬指導等の病棟業務(呼吸器内科、呼吸器外科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、脳神経外科、眼科)

今後の目標

今までに耳鼻いんこう科・歯科口腔外科・脳神経外科・眼科など多くの病棟を経験しました。現在は呼吸器内科・呼吸器外科の病棟を担当しており、化学療法目的に入院してこられる患者さんがほとんどです。治療は長期にわたることが多いため、薬剤指導や副作用モニタリングを行いながら、患者さんに安心して治療を受けていただけるようサポートしていきたいと思っています。

学生の方へ

様々な経験ができるのが当院の魅力だと思います。将来、何をしたいか決まっていなくても様々な経験を通して、やりたいことを見つけられるかもしれません。皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています。

やりたいことに挑戦できる環境が魅力

当院で長期実務実習を行なった際、職場の雰囲気もよく、先輩方がイキイキと仕事をされていたことが印象的で、生まれ育った地元の県立病院で働きたいと思いました。実習中ががん治療に携わったことで抗がん剤治療に興味を持ち、がん診療連携拠点病院で経験を積みたいと考えました。

また、1年目から病棟業務に配属されることもあり、希望した分野にも挑戦できる環境に魅力を感じました。現在は、他職種の方とも連携して臨床研究や学会発表を行うなど、充実した毎日です。



採用4年目 鎌倉 政城

抗がん薬調製、病棟業務(血液・腫瘍内科、免疫内科)等

今後の目標

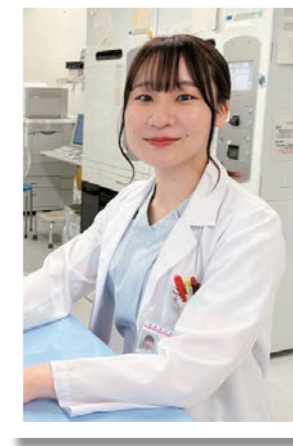
多職種や患者さんからも頼りにされる薬剤師になりたいです。そのためにもがん薬物治療や膠原病領域の認定資格にもチャレンジしていきたいと思っています。

学生の方へ

悩んでおられる方は、様々なところに見学に行ってください。その中で、一度当院にも見学に来てください。雰囲気の良さが分かると思います。ぜひ、一緒に働きましょう。

先輩の人柄と職場の雰囲気に魅力を感じました

病院見学に来た際に、先輩方の人柄や職場の雰囲気に魅力を感じ、当院を選びました。また、1年目の時から調剤だけでなく抗がん薬調製、病棟業務等幅広い業務に携わることができ、1日の中でも細かく業務のシフトが決められている点もよいところだと感じました。



採用2年目 水田 京香

調剤、持参薬鑑別、抗がん薬調製、病棟業務(耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、脳神経外科、眼科)等

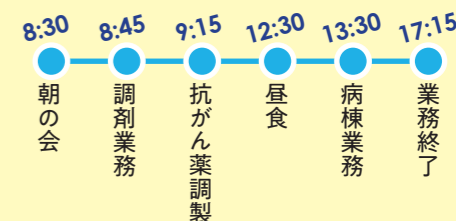
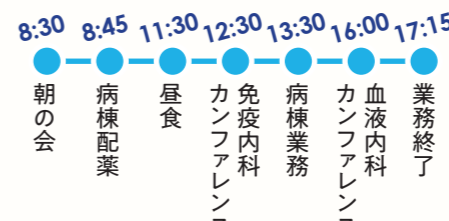
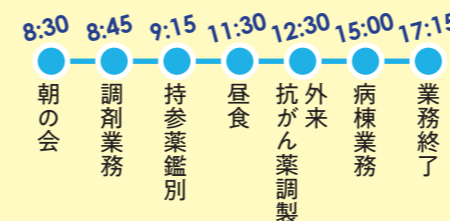
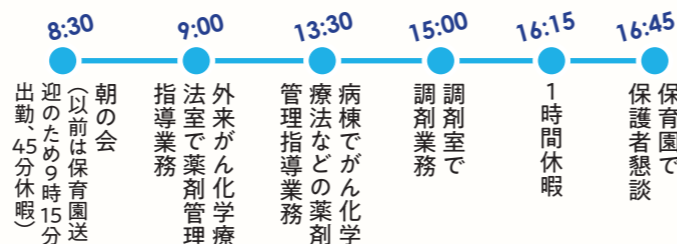
今後の目標

医療従事者や患者さんから信頼される薬剤師になりたいです。そのために、これから幅広い知識をつけ、様々な提案ができるように努めていきたいと思っています。そして、自分の興味のある分野の認定資格を取得したいと考えています。

学生の方へ

当院では、自分の興味のある分野を学びたい方だけでなく、幅広く学びたい方にも適した環境かと思っています。困ったときは先輩薬剤師がフォローしてくれるので、安心して働くことができます。皆様と一緒に働けるのを楽しみにしています。

1日のスケジュール



給与

大学(6年制)卒 月額約233,000円(地域手当を含む)
このほか、住居手当、通勤手当、扶養手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当等がそれぞれ支給条件に応じて支給されます。また、経歴その他に応じて、上記の額に一定の額が加算されます。

勤務時間

1週間あたり週38時間45分(週休2日)
2交代勤務
【日勤】8:30~17:15
【夜勤】16:30~翌日9:00
うち休憩時間60分

休暇(休業)制度

年次有給休暇(年間20日付与、初年度は採用月により異なる)のほか、夏期休暇(6日)、忌引休暇等の制度があります。また、子育て支援のための休暇(休業)制度も充実しています。
※その他にも、病院には院内保育所もありますので、子育てしやすい環境が整っています。(記載の休暇(休業)等は取得できる期間や日数等に限度があります)

特別休暇	妊娠中の受診休暇	妊娠中または出産後1年以内の職員が医師等の保健指導または健康診査を受ける場合	育児休業	育児休業	3歳に満たない子を養育する場合
	妊娠障害(つわり)休暇	妊娠中の職員がつわりのため勤務することが著しく困難である場合		育児短時間勤務	小学校に入るまでの子を養育する場合
	産前・産後休暇(前後8週間)	出産予定の職員が申し出て、出産した場合		部分休業(1日2時間)	小学校に入るまでの子を養育する場合
	育児時間休暇(1日2回各45分)	3歳に満たない子を養育する職員が授乳等育児を行う場合	その他	深夜勤務の制限	①小学校に入るまでの子を養育する場合 ②子等を介護する場合
	配偶者出産休暇(3日)	配偶者の出産に伴う入退院の付き添い等を行う場合		時間外勤務の制限	①小学校に入るまでの子を養育する場合 ②子等を介護する場合
	男性職員育児休業(5日)	配偶者の産前または産後期間に、当該子または小学校に入るまでの上の子を養育する場合		介護休暇	子等を介護する場合
	看護休暇(子1人につき5日)	負傷、疾病にかかった子の世話または中学校に入るまでの子の予防接種・健康診断を受けさせる場合		子育て支援時間	小学校1年生から3年生までの子を養育する場合
	学校等行事休暇(子1人につき2日)	子の在籍する学校等が実施する行事(入学式、授業参観、家庭訪問等)に出席する場合			

他の県立病院

小児保健医療センター

(守山市守山5丁目7-30)

小児を対象とした地域保健、総合的医療、難治疾患に対する高度医療を提供する中核的施設



精神医療センター

(草津市笠山8丁目4-255)

精神障害の発生予防や治療および社会復帰援助を総合的・専門的に行う総合施設



滋賀県立総合病院 薬剤部

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4-30

電話：077-582-5031(代) mail：nb0106@pref.shiga.lg.jp

https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/



病院HP



薬剤部 紹介動画